

人口増施策について

一般質問



高橋佐代子 議員
(自民の風・誠真会)

問 加西市人口は市長の思いをよそに減り続けているが、減少数とその分析結果は。また人口増施策に対する費用対効果の検証についてはどうか。

答 人口減少は依然として続いており、主な原因として、転入者の減少による転出超過と自然動態による減少があります。24年度までの2年間で人口は約1,060名減少していますが、市長就任以前と比較すると減少カーブが鈍化しており、施策の一定の効果がかがえます。また今後長期的な検証をあわせて行うことで、施策

が人口増に寄与しているかを判断していく必要があります。

問 ①賃貸アパート、マンション建設の補助制度について、固定資産、都市計画税の軽減額はどのようになっているか。②住宅建築等のために土地を売却した方への補助制度について、想定している補助金額、また課題とその対応策は。③制度を利用した新築マンションへの転入者数はどの程度見込んでいるか。また転入者への家賃補助制度を検討すべきでは。④中古物件についてのリフォーム補助などは考えているか。

答 ①平成24年度は15棟のアパートが新たに建築され、その固定資産、都市計画税額は、新築軽減後で約500万円、以降同様の建築戸数と仮定すると、5年間の総額は8,100万円となります。②3年間で約600万円の補助総額を見込

んでいます。現時点では問題や課題はないと認識していますが、制度が有効に活用されているか検証しながら進めていきたいと考えています。③最大150世帯の受入れが可能となります。また転入者の多くが市内企業で就労していることから、転入者への支援と市内企業に対する支援施策をあわせて検討していきたいと考えています。④今後古いアパート等をリフォームし、既存の建物を有効活用して戸数を確保できるような支援施策も検討していきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・人権学習のあり方について
- ・受動喫煙の防止等について

耐震について

一般質問



別府 直 議員
(自民の風・誠真会)

問 木造校舎といわれていた西在田小学校の地震対策工事設計業務委託について、耐震改築工事を行い、規模は小さくなるが、新たに建てかえる計画であるとの説明を以前から受けている。現在、計画の進捗はどのようになっているか。

答 平成23年11月16日に西在田小学校において、木造校舎と鉄筋コンクリート校舎とを含めた耐震化計画の説明会を行いました。

その時点では、木造校舎は取り壊して鉄筋コンクリート造に改築をし、既存の鉄筋コンクリート校舎については耐震補強と大規模改修をあわせて行う計画で、説明し理解を得ていましたが、その後地元から全面移転改築の意見が出てきました。

また同時に、現在校舎が残っている場所が土石流等による土砂災害警戒区域に含まれていると判明し、避難所となる校舎が警戒区域内にあるのは不都合であるため、当初の計画を変更し、現在体育館のある県道より南側の敷地に移転改築を行う方針で検討していると

しかしながら改築工事となると、現時点の児童数によって床面積が

決まるため、建てかえをすることで、ざっとした計算でも27%程度と、かなり校舎の面積が少なくなります。このような条件もあわせて配置計画及び計画面積等について、7月上旬に西在田小学校での地元説明会を行い、その結果をもとに、特にいま子どもたちを持っておられる世代の方々の意見を最優先に、平成26年度に設計を実施したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・通学路の安全対策
- ・有害鳥獣駆除
- ・泉第三保育所について
- ・加西市の情報発信について